

探偵ごっこ

2019. 5. 8発行

担当：田村妙子

現在子どもたちがたのしんでいる自発あそびの一つである「探偵ごっこ」。これは、新入の子にとって初めての自発あそびですが、「あそび」や一緒にたのしむ友だちと出会い、幼稚園がたのしいと思って過ごして欲しいと願い、また、進級の子には、前年度の自発あそびの経験を活かし、あそびをリードしながらたのしんで欲しいという思いで始めました。子どもたちが好きな絵本「おしりたんてい」とは違う「正当な探偵」として、推理を働かせ、自分の考えを言葉で仲間と伝え合いながら問題を解決していく心地よさや達成感を共感し繋がって欲しいと願っています。今日は、探偵の活躍をみなさんにお届けします。

この度、新しく開設した『田村探偵所』の所長の田村です。開設すると早速、困っている人の力になりたいと正義感あふれる探偵がたくさん集まってきてくれました。初日は、探偵バッジを手渡され白い探偵帽子に着け捜査へ。困っている人が依頼書に記入し投函できる「探偵ポスト」があります。所長が箱を揺すってみるとガサゴソ…音がするではありませんか！中に入っている依頼書を開いてみると…「ミニオンのメモ帳をなくして困っています。探してください！南部一朗園長より」という書き込みがありました。すると、年長探偵から「どこで失くしたんだろう？」「どの位の大きさのメモ帳だろう？」「最後に使ったのはどこだろう？」…次々に疑問が湧いてきました。そこで、実際に一朗園長に聞き込みをし、失くした日の足取りを手掛かりに推理を働かせ仮説をたてた探偵たち。いざ探偵開始！絵本コーナーや絵本の部屋をくまなく探す探偵たち。年長探偵が本棚と本棚の間や台の下をのぞき込むと、その姿に刺激を受けて、年中・少探偵も真似をして覗き込んでいました。「うーむ！ここにはないようだ！次は、ホールを探してみよう！」とみんなでホールへ進んだところ…「ここが怪しい！」と年長探偵がストーブ横にある演台の下を、身をかがめて覗き「あった！」と叫びだしました！「どこ！？」と言いながら、みんなが集まって演台の下を覗き込むと探していたミニオンのメモ帳を発見！「ほんとだ！あったね！」と喜び合う探偵たち。「ところでどうやって取り出す？」と尋ねたところ「台を引っ張ってメモ帳を出そう！」ということになり「よいしょ！よいしょ！」とみんなで力を合わせて台を引き、奥に落ちていたメモ帳を取り出すことが出来ました。直ぐに、依頼主である一朗園長に「見つかりました！」と手渡すと「わ～！ありがとうございます！」と喜んでくれました。その姿を見た探偵たちも自分たちの事のように喜んで笑顔がいっぱい。一件落着！さて「どうやってあの演台の下にメモ帳があったんだろう？」…「演台の上に置いていたのが何かで下に落ちたのかな？」「床に落としたのを誰かが気づかず蹴ってしまい、奥にいつてしまったのかな？」と探偵所に着いてからも推理を働かせていました。依頼が解決すると探偵手帳に「スミ（済）」というスタンプを押します。「見つかってよかったね！」「あんなところにあったなんて！」と感じたことを様々に語り合いながら、「次も頑張ろう！」と年長探偵がしめの掛け声をかけてくれ探偵たちの一日が終わりました。



探偵たちの活躍いかかでしたか？このように探偵たちは、自分の力を活かし推理を働かせ、困っている人のために問題を解決し日夜頑張っています！これからも探偵たちの活躍をお伝えできたらと思います。